

火山翻译·第五届全国机器翻译后编辑大赛汉/日互译项目初赛（全国赛区）参考译文

序号	原文	参考译文
1	デジタルヘルスとは？「人生100年時代」を支えるテクノロジー	数字健康——实现“百岁人生”的高科技
2	最新のデジタル技術で医療、ヘルスケアの効果を向上	利用最新的数字技术改善医疗保健效果
3	デジタルヘルスとは、人工知能（AI）やチャットボット、IoT、ウェアラブルデバイス、ビッグデータ解析、仮想現実（VR）など最新のデジタル技術を活用して、医療やヘルスケアの効果を向上させることを意味しています。	所谓“数字健康”是指利用人工智能（AI）、聊天机器人、物联网（IoT）、可穿戴设备、大数据分析和虚拟现实（VR）等最新的数字技术，来改善医疗保健效果。
4	医療は、人の命や機能の維持に関わる重要な分野です。これまで医療分野では、電子カルテのようにICTが活用されるなど、診療記録に関するシステムであるEHR（Electronic Health Record）に注力されてきました。	医疗能够保证人类生命，维护身体机能。医疗界过去一直致力于开发电子健康档案系统（EHR），如运用信息与通信技术（ICT）打造电子病历等。
5	しかし、ヘルスケアでは日常の活動記録が重要であることや、再発予防には個人が生涯にわたり、自分自身に関する健康・医療情報を個人の同意のもと、ネットワークを通じて参照・共有・活用等を行うシステムのPHR（Personal Health Record）が重要となるため、EHRとPHRとの連携が推進されつつあります。さらには臨床研究においても、デジタル技術の活用による新たな価値の提供が期待されています。	但是，在医疗保健领域，日常的活动记录非常重要，个人的健康档案系统（PHR）也非常重要。所以，EHR与PHR的协同使用正在得以推进。所谓的个人的健康档案系统（PHR）是为了预防疾病复发，经患者本人同意，将本人一生的健康和医疗信息通过网络供他人进行参考、分享以及使用的系统。此外，人们还期待在临床研究中应用数字技术，创造新的价值。
6	病気の発症、重篤化する前に異変を察知して対処	察觉并处置发病、重症化之前的异常情况
7	元気に暮らせる老後を実現し、医療費増大を抑制するためには、医療・ヘルスケアのイノベーションが不可欠です。ICTを効果的に活用することで、病気の発症と重篤化の防止、効果的で効率的な診断・治療、適切できめ細かなフォロー・介護が期待されます。	要想实现健康的晚年生活，合理控制医疗费用的增长，医疗保健有必要进行创新。有效地利用ICT可以预防疾病的发病和重症化，做出快速有效的诊断和治疗，以及妥善细致的跟踪与护理。
8	当然のことながら、病気にならないければ医療費はかかりません。また、早期に対処して重篤化させなければ、患者本人の苦痛も少なく、一般に医療費も軽減できます。つまり、病気にならない体を維持する適切なヘルスケアと、病気の兆しや軽微な症状の早期発見が重要になるのです。	诚然，不生大病就无需支付医疗费用，而且如果及早处置病情不使其加重，不仅能减轻患者的痛苦，一般还能减少医疗费用。也就是说，通过适度的医疗保健保持身体健康，以及早期发现发病征兆和轻微症状极为重要。
9	これまでの症状が出た後の病院での検査、または定期検診で病気が見つかる例がほとんどでした。そのため見つかった時には、既に症状が進行している場合も多くあります。一方、例えばがん検診は、早期発見に役立つことが統計資料からも明らかです。	迄今为止，多数病例都是在出现症状后到医院检查时或是在定期筛查中得以确诊的。因此，很多时候等到确诊时，病情已经发展到一定程度。例如统计表明，癌症筛查有助于早期发现病情。
10	しかし、検診の検査方法（胃透視の限界）や検診間隔が長いなどの理由で残念ながら早期発見できない例もあり、病気を予防するため、さらには軽微な状態を把握するためには、日常生活の中で自分の体の状態をどれだけ正確かつ継続的に把握できるかが重要になってきています。	然而，遗憾的是，由于胃透视等检查方法的局限和检查间隔较长等原因，有些疾病无法及早发现。为了预防疾病，乃至在症状较轻时把握情况，有必要在日常生活中坚持准确把握自己的身体状况。
11	近年では、ウェアラブル端末とそこから得た生体情報を解析するクラウドサービスが、病気の発症や重篤化の防止に活用できるようになってきました。ウェアラブル端末などを使って自身の生活習慣を把握できるようになり、日常生活の中で収集した生体情報から病気の兆しを察知するAIなども開発されています。AIやチャットボットを使って、ちょっとした異変を気軽に相談できるようにもなりました。	近年来，云服务这种能分析可穿戴设备及其采集的生物信息的数字服务，开始应用于阻止和延缓疾病的发病和重症化。人们可以使用可穿戴终端等来把握自己的生活习惯，还可以利用研发的人工智能，帮助自己从日常生活的生物信息中及时发现发病征兆。人们甚至可以随时向人工智能和聊天机器人咨询身体的异常情况。
12	そして、ICTを活用して、治療後のフォローやリハビリテーション、介護の効果を高める取り組みが進んでいます。IoTやウェアラブル端末を活用して日々の生体情報を収集し、それを基にAI技術がリハビリ計画の立案や患者の回復度の予測などを行って、効率的で質の高い介護サービスを提供する試みが行われています。	除此之外，目前正借力ICT，提高治疗后跟踪随访、康复效果，实现护理质量提升。医学界正在尝试利用物联网和可穿戴设备收集日常生物信息，以此通过人工智能制定康复计划，预测康复程度，从而提供高效和优质的护理服务。
13	医療技術の地域間格差を是正するロボットやVR	利用机器人和VR技术缩小医疗技术的地区差
14	ほかにも近い将来実現するデジタルヘルスの取り組みが進められています。ロボットを使った遠隔手術です。医師不足に悩む地域もたくさんあります。また、特定の医師しか対処できないような稀有な病状の病気もあります。既に、「da Vinci Surgical System」といった手術ロボットが実用化され、最小限の開腹部で精密な手術ができるようになりました。そして、da Vinciの特許の多くが2019年に満了になり、現在、多くの手術支援ロボットの開発が進んでいます。例えば、ロボットアームで触れた患部の感触を医師が触感として感じることでできる手術ロボットなどが開発されています。さらに、5Gの実用化によって通信遅延が解消され、オンライン手術が実現する環境も整いつつあります。	此外，在不久的将来还会有更多的数字健康举措。因为很多地区医生资源匮乏，还有一些罕见的疾病，只有特定的医生才能处置，需要进行机器人远程手术。在这种情况下，达芬奇手术系统（“da Vinci Surgical System”）这类辅助手术机器人应用于临床，可以在腹部进行精密的微创手术。2019年后，达芬奇手术系统的很多专利陆续到期，一些辅助手术机器人的研发正在推进。比如通过机械臂能够代替医生，感知人体患处的手术机器人等。此外，5G技术的实用化解决了通信延迟问题，为在线手术提供了良好的环境。
15	VRを使った手術のシミュレーションでは、難しい手術や医療行為を行う際、医師が事前にVRを使ってトレーニングできるようにする取り組みが進んでいます。医療データに基づいた症状をシステムで再現することで、より実践的な準備を整え、効果的で失敗のない対処を目指すものです。外科医の腕は、経験に比例して向上していきます。これからはVRを活用することによって、経験豊富な多数の医師を短時間で育成できることも期待されます。	在使用VR技术进行手术的虚拟场景下，遇到复杂的手术或医疗活动时，努力确保医生事先使用VR进行培训。目的在于在系统中再现医疗数据体现的症状，医生可以更好地进行实战准备，有效无误地处置。外科医生的技术水平的提高与其实际操作经验成正比。今后，有望通过使用VR技术，在短时间内培养出大量实践经验丰富的医生。
16	医療・ヘルスケアの発展で「人生100年時代」が到来	发展医疗保健，迎接“百岁人生”时代的到来
17	医療やヘルスケアの分野でのDXは、大きく発展する分野であると言えます。近年、医療でのICT活用の可能性が広く知られるようになり、政府もデジタル・ヘルスケアの利用を後押しするようになりました。ウェアラブル機器から得られる生体情報など、これまで一般の病院での医療行為にあまり利用されてこなかった情報が比較的容易に利用できるようになっていくことでしょう。近未来の医療・ヘルスケアは革命的な進化を遂げ、まさしく「人生100年時代」が到来するでしょう。	可以说，在医疗保健领域，数字化转型（DX）将得以快速发展。近年来，在医疗保健领域可以使用ICT已得到广泛认可，政府也开始推动使用数字医疗保健。以前在普通医疗机构的医疗活动中，极少能使用从可穿戴设备中获得的生物信息，而现在，使用这些信息变得轻而易举。在不久的将来，医疗保健将发生革命性的变化，人类也将因之迎来“百岁人生”时代。